

新 旧 対 照 表

【 森林整備保全事業 I C T 活用工事（法面工）積算要領 】

改 正 後	現 行	備 考
<p><b>1. 適用範囲</b> 本資料は、3次元設計データを活用した法面工（以下、法面工（I C T））<u>【削除】</u>に適用する。 <u>【 削 除 】</u></p> <p><b>2. 適用工種</b> <u>【 削 除 】</u> モルタル吹付 コンクリート吹付 機械播種施工による植生工（植生基材吹付，客土吹付，種子散布） 人力施工による植生工（植生マット，植生シート，植生筋，筋芝，張芝） 現場吹付法枠工 <u>落石雪害防止工</u>  <u>【 削 除 】</u></p> <p><b>3. 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用</b> <u>【 削 除 】</u> 3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積み上げるものとする。 <u>【 削 除 】</u></p> <p><b>4. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用</b> <u>【 削 除 】</u> <u>（1）</u> 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における経費の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。ただし、法面工（I C T）を同時に実施する土工（I C T）において補正係数を乗じる場合は適用しない。 ・共通仮設費率補正係数 ： 1.2 ・現場管理費率補正係数 ： 1.1 ※小数点第3位四捨五入2位止め なお、法面工（I C T）において、経費の計上が適用となる出来形管理は、以下の</p>	<p><b>1. 適用範囲</b> 本資料は、3次元設計データを活用した法面工（以下、法面工（I C T））<u>及びI C T施工による3次元マシンコントロール（バックハウ）技術及び3次元マシンガイドダンス（バックハウ）技術を使用した盛土法面整形工及び切土法面整形工</u>に適用する。 <u>1 工事当りの土工作業の取り扱い土量が1,000m3以上の法面整形の積算にあたっては、施工パッケージ型積算基準により行うこととする。</u> <u>1 工事当りの土工作業の取り扱い土量が1,000m3未満の積算にあたっては、本要領によるものとする。</u> <u>※土工量1,000m3未満とは、盛土量又は切土量が1,000m3未満の場合をいう。</u></p> <p><b>2. 適用工種</b> <u>盛土法面整形工及び切土法面整形工</u> モルタル吹付 コンクリート吹付 機械播種施工による植生工（植生基材吹付，客土吹付，種子散布） 人力施工による植生工（植生マット，植生シート，植生筋，筋芝，張芝） 現場吹付法枠工 <u>【 新 設 】</u></p> <p><b>3. 機械経費</b> <u>3－1～3－3 【 省 略 】</u></p> <p><b>4. 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用（法面工）</b> 3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積み上げるものとする。 <u>（法面整形工）</u> <u>3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積み上げるものとする。</u></p> <p><b>5. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用（法面工）</b> <u>【新設】</u> 3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における経費の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。ただし、法面工（I C T）を同時に実施する土工（I C T）において補正係数を乗じる場合は適用しない。 ・共通仮設費率補正係数 ： 1.2 ・現場管理費率補正係数 ： 1.1 ※小数点第3位四捨五入2位止め なお、法面工（I C T）において、経費の計上が適用となる出来形管理は、以下の</p>	

新 旧 対 照 表

【 森林整備保全事業 I C T 活用工事（法面工）積算要領 】

改 正 後	現 行	備 考
<p>1）～4）とし、それ以外の、I C T活用工事（法面工）実施要領に示された、出来形管理の経費は、補正係数を乗じない共通仮設費率及び現場管理費率に含まれている。</p> <p>1）～4） 【 省 略 】</p> <p><u>【 削 除 】</u></p> <p><u>（2）費用計上に当たっての留意事項</u></p> <p><u>1）3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合は、費用の妥当性を確認することとし、受注者からの見積りにより算出される金額が、（1）で算出される金額を下回る場合は、見積りにより算出される金額を積算計上額とする運用とする。</u></p> <p><u>2）受注者から見積りの提出がない場合は、3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用は計上しないものとする。</u></p> <p><u>【 削 除 】</u></p>	<p>1）～4）とし、それ以外の、I C T活用工事（法面工）実施要領に示された、出来形管理の経費は、補正係数を乗じない共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。</p> <p>1）～4） 【 省 略 】</p> <p><u>（法面整形工）</u></p> <p><u>原則、断面管理にて出来形管理を実施するため、標記経費は計上しない。</u></p> <p><u>【 新 設 】</u></p> <p><u>【参考】</u></p> <p><u>1－1～1－4</u></p> <p><u>【 省 略 】</u></p>	